

すみれ通信



令和8年1・2・3月発行 第91号

すこやか子育てのお手伝い
悩まないで！「すみれ」がお手伝いします

児童家庭支援センターすみれは子育てに関する不安や心配事の相談に応じ、一緒に考えてい
く身近な相談機関です。お気軽に相談下さい。たとえば育児・発達の遅れ・虐待・しつけ・
性格・いじめ・不登校・非行などの相談をお受けします。

相談は電話相談・来所相談・訪問相談を行っています。

*秘密は厳守します。相談料は無料です。



子育てホットライン 079-238-3553

*受け付けは月～土 9時～18時まで(緊急時は24時間365日受け付けます)

すみれではこんな活動をしています



子育てライブラリー すみれ



交流スペースでの自由遊び、絵本の読み聞かせ、絵本の貸し出しを行います。また簡単な手遊びや親子体操など、か
らだを使った遊びで親子のふれ合いができるプログラムを行っています。

開催日：毎月第1,3金曜日 10時～11時30分 … 後半は絵本の読み聞かせや設定遊びなど

1/16、2/6、20、3/6 ※3/20の開催はありません

会場：相談支援棟1階交流スペース

人数：親子6組（最大15名まで）*当日9時～9時30分の間にご予約ください。

参加費：1歳以上のお子様1人につき基本50円（活動内容により変動する場合があります。）

*体調が優れない方は利用をお控えください。

*予約人数は、感染症等の状況により変更する場合がございます。



△交流スペース開放日

ゆっくり、子育てのよもやま話をしませんか？

開催日：月～金のいずれか及び第1土曜
10時～11時30分

人数：親子6組（最大15名まで）

*当日9時～9時30分にご予約ください。

*開放日はすみれ玄関とホームページで掲示いたします。
ご確認ください。

発達相談日

発達が気になるお子さんの相談に心理士が応じま
す。また保育園等の機関に心理士を派遣します。

(予約制、別途日程調整可)

実施日：毎月第4金曜日 10時～12時

1/23、2/27、3/27



ご予約は079-230-4445（児童家庭支援センターすみれ）へお電話ください

親子の時間を育む

4月になったら就園、就学、進級・・・

春は子どもたちの環境の変化が大きい季節ですね。

特に就園は初めての集団生活に入るため、親子共に不安を感じることもあるかと思います。

新しいことが始まる前に不安な気持ちになることは当たり前。就園前の今だからこそ出来ることを意識して前向きな姿勢で過ごしていきましょう。



今一度生活リズムを意識して過ごしませんか？

- ☆毎日早起きを心掛ける
- ☆朝・昼・晩、時間を決めて食事をとる
- ☆午前中は外出や外遊びを取り入れ活動する



子どもの成長を親子で喜びあえる関係性を築いていくことが大切です。今しかない親子の時間を大切に過ごしていきましょう。



2025年 子育て事業の活動報告



子育てライブラリー

絵本の読み聞かせでは回を重ねるにつれ子どもたちが絵本の世界に引き込まれていく姿に成長を感じています。また、絵本の貸し出しも多くの方にご利用いただき、絵本との出会いを楽しんで下さっていることもうれしく思っています。夏は水遊びやシャボン玉遊び等の屋外活動、秋はとんぼの玩具、冬はサンタのベルの製作等、毎月親子で楽しめるプログラムを行いました。



学童企画

春はプレ1年生対象企画、夏は小学生対象企画を開催しました。夏の小学生対象企画では夏休みの宿題に取り組んだ後にカブラ積み対決。チームで協力していかに高く積み上げるかを競いました。新しい試みで自由研究をテーマにアイスクリームづくりにも挑戦しました。グループ毎に相談しながら協力して楽しく作ることができました。



いつも来てくださる方々はもちろん、初めて来ていただく方にも安心してご利用いただけるよう職員一同務めてまいります。子育てのことで「ちょっと話を聞いてほしいな」「誰かに相談したいな」と思うことがあればいつでもご連絡くださいね。今年もすみれでお待ちしています。

絵本のある子育て



子どもたちは絵本を通して様々な表現や世界を体験し、言葉や想像する力を育みます。今年度は、季節に応じてすみれのおすすめの絵本をお届けします！親子でゆっくり絵本を読む時間を大事にしてみませんか。

冬 のおすすめ絵本



ぽかぽか。
あったか～い。



もりのおくに
いるのは…!?



かわいいおふろ。
たのしいね。

「声を通してこころを伝える」

機械からの一方通行の語りには感情やコミュニケーションは存在しません。「言葉」は大好きな人の声を通して「こころ」をのせた「言葉」になります。絵本を読み聞かせるというのは読み聞かせる親の声を通して、子どもに親の「こころ」を伝えるということなのです。自分に語りかけられる大好きな人の声は、子どもたちにとって大きな安心感を与えることでしょう。



すみれの窓から

「時代は巡る」

このコーナーでは、すみれのスタッフが日頃感じていること、伝えたいと思っていることなどをまとめています。今回はわだ心理士からです。

現在、大流行によりお店から姿を消しているシールの数々。自分の子ども時代に流行ったものが今ブームの再来を迎えており、当時の気持ちがよみがえって心が沸き立ちます。趣味が文房具集めの私は、シールやステッカーも集めるのが大好き！この波に乗っかり時折シールを探してみるのですが、最近はどこに行ってもなかなか出会えません。日々流行の最先端が更新されていくこの頃、子どもたちの間で流行っているものを知って関心を寄せることも多い一方で、懐かしいもののブームは大人の心もワクワクさせてくれます。当時子どもだった世代が今は親となり、自身の子どもと一緒に楽しんでいる人も多いのではないでしょうか。誰かと好きなものを共有できる時間はとてもすてき。そんなひとときを大事に過ごしていきたいなと思います。



広畠学園チャレンジクラブ

★1月のプログラム★

日時：令和8年1月17日（土） 内容：『防災クッキングをしよう！』

詳細は広畠学園 チャレンジクラブのホームページをご確認ください。

*1月のプログラムについては、定員いっぱいになりました。

*年度ごとに登録が必要です。新規登録（新1年生・令和7年度から初めて登録するお子さん）をご希望される方は、事前に登録が必要となります。すみれまでお問合せください。

★今後の予定★

令和8年3月7日（土）『山登り or ウォークラリーをしよう！』を予定しています。

*予定が変更になる可能性もございますので、ホームページをご確認ください。

社会福祉法人あいむの事業

ご利用については、各施設へお問い合わせ下さい。

アメニティホーム広畠学園 Tel079-236-1630

子育て短期支援事業 (姫路市からの受託事業)

保護者の方が疾病などの理由および社会的な理由により一時的に家庭でお子さんを養育できない時に、施設（アメニティホーム広畠学園：児童養護施設）でお預かりすることができます。利用には姫路市子育て支援室での手続きが必要となります。

病児・病後児保育事業 (姫路市からの受託事業)

保育所等へ通所しているお子さんが病中または病気の回復期にあって保育所等へ通えず、保護者の方が仕事のため家庭で養育できない時に、施設（アメニティホーム広畠学園）でお預かりすることができます。利用には登録・および医師の診断書が必要です。

（姫路市外の方もご利用できます。利用の流れの詳細は、ホームページをご確認ください。）

チコハウス山びこども園 Tel079-239-0242

すくすく教室・とこここ教室

就園前のお子さんとお母さん方を対象に、毎週水曜日 10時から交流ホーム1階ホールにて開催しています。リトミック・手作りおもちゃなどの保育体験活動や子育て相談を受けることもできます。

編集後記

新しい年を迎えました。昨年末はインフルエンザが猛威を振るい、学校園では学級閉鎖が相次ぎました。この冬も感染症対策を意識しながら、人との関わりを大切にして過ごしていきたいと思います。みなさまと元気にお会いできることを楽しみにしていますね。実り多き一年になりますように。（みわ）

お問い合わせ



社会福祉法人あいむ 児童家庭支援センターすみれ

〒671-1102 姫路市広畠区蒲田 370-1

Tel:079-230-4445 FAX:079-230-4446

E-mail:sumire@aimu-wel.or.jp

